

UNODCで働くことは

名前 後藤佳世子さん

肩書 事業局副局長（局長代行）
兼同局統合プログラム・監視部長



私の勤務するUNODCは、ウィーンに本部を置く、麻薬犯罪防止を使命とする国連機関です。同分野の条約批准と実施に向けたサポートや、組織犯罪、汚職、テロの防止、刑事司法整備、薬物乱用対策を中心に、リサーチや対加盟国への技術協力を行う活動をしています。

そのため、法律の専門家、特に裁判官や検察、警察、税関分野の出身者等、専門性の高い人材が多く登用されていますが、技術協力や条約会議の運営、人事財務などの管理部門等の非法律職種も多く存在します。例えば、私の所属する事業局では、各国・地域事務所の運営や、150カ国で展開する技術協力活動を統括しており、戦略的計画作りから細かな予算管理まで、プログラムの企画運営を一手に担うことの出来る有能な“ジェネラリスト”達が働いています。

ですから、法律治安分野の専門家はもちろん、開発や平和構築活動の経験をお持ちの若手プロフェッショナル達にも活躍のチャンスのある職場だと思います。多くの方に、UNODCの活動に興味を持っていただければ幸いです。

● UNODCで働く日本人

・カブール事務所 シニア・プログラム・コーディネーター 加藤美和さん

違法薬物取り締まり、犯罪防止をコア・マンドートとするUNODCの活動は、国際社会の規範設定、調査・分析等、多岐にわたりますが、中でも、途上国が違法薬物を含む犯罪から受ける影響を食い止めるために行う「フィールド技術支援」が、活動の中核をなしています。例えば、世界の不法ケシ栽培の8－9割を生産しているアフガニスタンにおいては、麻薬取締り警察の訓練、司法制度の整備、ケシの栽培地域での代替開発、薬物の需要削減、薬物乱用防止等の、国内対策を支援しています。また、不正薬物問題は、典型的な越境犯罪で、周辺国への影響も多大であり、一カ国内のみで対応を講じても成果が上がらないため、地域レベルでの支援が必要です。そこで、現在、地域レベルでの取組を促進することが新たに求められています。



地域の国同士が異なる国益の利害関係を超え、共通の課題である不法薬物取締りの対策を講じ、被害を受ける人々に支援を効率的に行うよう働きかける仕事は、困難でもあります。とてもしやがいのある仕事です。とにかく、高度に専門的で特定したスキルのある人しか貢献できないと捕らえられがちなUNODCの仕事ですが、苦境に直面する人や国を支援するという国連の第一の使命に情熱を持つ様々なバックグラウンドの方が、UNODCの仕事に参加してくださればと思います。

・事業局 司法課 犯罪防止・刑事司法担当官（補） 山本弘行さん（JPO）

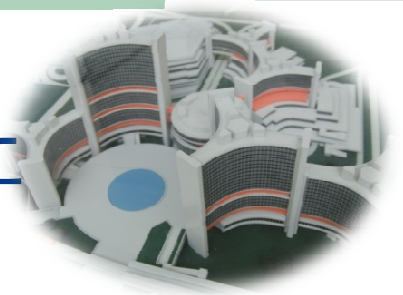
当課では、国家の刑事司法制度（警察、検察、弁護士、裁判所、刑務所、犯罪被害者支援）の整備や発展を支援するため、人材育成の支援、規範やガイドラインの作成、最良の方策・事例の蓄積を行っています。

私は、特に、特定の犯罪の傾向や状況の分析、警察活動に関する規範やガイドラインの作成、警察改革・能力向上プロジェクトを実施している世界各地の現地事務所の支援を担当しています。時には、プロジェクトの現場に赴き、プロジェクトの成果の視察、現地関係者からの意見（教訓）の聴取を行います。



国家と国民を犯罪から守るという重要な役割を担う警察組織への支援は繊細であり、組織構造や警察を取り巻く環境は国によって異なるので、その国のニーズを的確に見極める必要があります。従って、現地政府・警察との信頼関係やコミュニケーション、そして、その国の文化や情勢などの理解が重要です。援助受け入れ国のニーズに応え、その国の特徴を考慮しながら支援方法を作り上げるのは非常にやりがいを感じます。

UNODCで働くために



● 応募の実例

- 事業局 統合プログラム・監視部 南アジア・東アジア・太平洋地域課長

山田成美さん

アメリカの大学で学士号（社会学、政治学）、日本の大学院で修士号（行政学・国際関係）を取得し、大学院在学中の日本の大学院での職務及びその後の私企業（マネジメント・コンサルティング）での勤務経験を経て外務省のJPO（AE）制度により国際労働機関（ILO）で勤務。正規職員となり、ILOジュネーブ本部で勤務の後、国連薬物乱用統制基金（1991年に国連薬物統制計画に改組、2002年にUNODCに統合）に採用された。ウィーン本部アジア課、駐タイ東アジア太平洋地域センター次席代表、駐ベトナムオフィス代表等を経て、近年ウィーン本部に戻り、2010年より品質制御監査課長を経て、2011年9月現在のポストに至る。

品質制御・監査のポストでは各地域で開発施行中のプログラムの質の向上、制御、各地域オフィスから提出されてくるプログラム・プロジェクトを本部として最終審査・承認するとともに、世界各地で運営されているプログラムを統合的にモニターする初のシステムを立ち上げ実行にうつしました。現在のポストはアジア各地の地域オフィスと一体となって南アジア及び東アジア太平洋地域の援助プログラムの開発実施を促進し効果的な成果を上げるようリードする役割です。長年関わってきたアジア地域での援助プログラム運営管理経験を活かしてダイナミックなプログラムの戦略的且つ統合的な計画と施行に携わり国連が目指す平和、安全、開発に微力なりとも貢献したいと願っています。

